

～15周年を迎えて～

令和元年11月で当院は15周年を迎えました。

気がつけば15年、開院当初は全く想像もできないくらい遠い道のように見えていましたが、時の経つのは早いものです。まだまだ自分は若いなんて思っていたのですが、だんだんと年齢を感じています。そして、思えばあの患者さん、あのおじいちゃんやおばあちゃんはどうしているのだろうと思うようになりました。もうこの世にいない方も多くおられることと思います。人生の定めとは言えども、はかなさを感じずにはられません。医師として、少しでも多くの患者さんに元気になっていただくお手伝いをできればとひたすら走り今もお走りつづけています。自分ももれなく老いていきますが、多くの方が治療によって元気を取り戻してくださる姿を見ながら自分の生きがいとして日々を過ごしています。

15年前は、まだまだ死のことや人生に限りがあることなどあまり考えもしてなかったと思います。ここ最近、多くの方が健康で明らかに高齢化がすすんでいるなあと感じますが、それでもいつかは人生には終わりがくるもので、これは自分も例外ではなく平等に人に与えられたものです。だからこそ、これからの5年10年はもっともっと有意義に時間を大切につかいたいと考えています。これにもっと早くに気がついていたらいいのですが、面白いもので歳月が経たねば多くの人は気がつかないのかと思います。

15年を迎えておおみや整形外科は全館リニューアルをしました。年内で工事も終了する予定です。これは、まだまだおおみや整形外科を継続していくということです。私がみているのは、20年30年先です。今回のようにハードをリニューアルすることはお金をかければ簡単なことではありますが、今後このおおみや整形外科を継続していくことは簡単なことではありません。私が20年も30年も今と同じようにやるわけではありませんし、そんなことは年齢も考えるとできるわけがありません。15年かけて築き上げてきたおおみや整形外科の精神を受け継いでくれる先生やスタッフに少しずつ引き継がれる日が来ると願い、その準備をしながら日々を過ごしています。もちろん私自身は現場がとても好きですし、患者さんと向き合っこの医師であるとおもっていますから今のようなパフォーマンスができないとしても生涯患者さんと向き合い我が人生を全うできればと思っています。

亡き父が残してくれた言葉があります。医師という仕事は社会に奉仕すべき特別な仕事なのだからそのことを肝に命じて、天から与えられた使命と思って人のために尽くしなさい。父は医師ではなく普通の会社人間でしたが、いまでも立派な言葉を残してくれたと思っています。

世の中はだんだんと個人主義的になってきていますね。もちろん個人の権利や主張や時間は大切とは思いますが、もし全ての人と同じように考えるのなら本当にいい社会になるのかなとよく思います。どうしてそんなに頑張るのか、どうしてそんなに優しくするのかなと言われることもあります。これが自分の生き方としかいいようがないです。自分に残された人生はどう考えても今まで生きてきた時間より短いです。あと少ししかないかもしれませんし、一寸先はわかりません。でもでも、悔いのないよう疲れても傷ついても今の自分を貫いて残りの人生を医師として生きていきたいと思っています。迷うこと多々、嬉しいこともあれば涙が浮かぶことも多々ありますが、スタッフ共々、皆様に支えていただけるように、そしてすこしでもその力の多くを病める患者さんのために注げればよいと思います。

これからの令和の時代もどうぞよろしく願いいたします。

令和元年12月 おおみや整形外科 院長 大宮 克弘